

科目コード	N22304	科目名	看護過程論（基礎編）				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	尾黒正子						
授業の概要	看護の目的や機能を果たすための1つの方法として、看護過程がある。看護過程は、対象の情報を収集し、それを分析/解釈し健康上の問題を明確にし、問題を解決するための計画を立て実践し評価する過程をいう。基礎編では主に、看護過程の基礎的知識及び展開方法を学習する。看護過程の展開をとおして、科学的根拠に基づいて推論し実践につなげることが重要であることから、臨床判断に必要な基本的な考え方を学習する。さらに、看護の実践の証として看護記録が重要になるため、主な看護記録について学習する。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
到達目標	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	1.看護過程の目的が理解できる。 2.看護過程に必要な理論及び考え方が分かる。 3.看護過程の構成要素（情報収集・アセスメント、問題の明確化、計画の立案、実施、評価）が理解できる。 4.看護記録の必要性、種類、法的根拠が理解できる。						
履修上の注意事項	既習学習の知識を活用していきます。 1つずつが積み重なっていきますので、欠席した場合は補って進んでください。 「自ら考える」という習慣を身につけて下さい。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	ガイダンス、看護の目的と看護過程、看護過程の構成要素【尾黒正子】					
	2	ヘンダーソン理論、基盤となる理論（クリティカルシンキング・リフレクション）【尾黒正子】					
	3	全体像の描き方【尾黒正子】				人体の構造と機能、病因・病態学、臨床病態学などの既習学習が必要です。	
	4	情報収集、情報の整理・分類、情報の解釈・分析【尾黒正子】					
	5	看護問題の明確化（関連図）【尾黒正子】					
	6	看護計画・実施・評価【尾黒正子】					
	7	看護記録、事例1紹介【尾黒正子】				事後学習：フェイスシート、全体像	
	8	事例1患者の情報収集（フェイスシート、全体像）GW【尾黒正子、他】				事後学習：アセスメント・問題の明確化	
	9	事例1患者のアセスメント（アセスメント・問題の明確化）GW【尾黒正子、他】				事後学習：関連図	
	10	事例1患者の問題の明確化（関連図）GW【尾黒正子、他】				事後学習：看護計画	
	11	事例1患者の看護計画（看護計画）GW【尾黒正子、他】				修正	
	12	アセスメント・関連図・看護計画の発表準備【尾黒正子、hボカ】				GW	
	13	アセスメント・関連図・看護計画の発表・共有【尾黒正子】				GW	
	14	アセスメント・関連図・看護計画の発表・共有【尾黒正子】				GW	
	15	まとめ【尾黒正子】					
成績評価方法	1.提出物、GWへの参加態度、他（30点） 2.:学科試験（70点）						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	看護の基本となるもの ウォージニア・ヘンダーソン著					978-4-8180-1996-6	
参考書	専門分野 基礎看護技術 基礎看護学2					978-4-260-04992-4	
教員からのメッセージ	看護過程は、人体の機能や病因・病態学、臨床病態学、臨床薬理などの知識とともに、対象の理解および援助方法の創造には「看護学概論」「生活援助技術」などの学習内容が重要になります。						
教員との連絡方法	問い合わせなどは、C-ラーニングで行います。						
実務経験のある教員	担当教員は実務経験を有している。						